

**設営・取扱説明書**

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



**部品構成表** ( )は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	インナーテント×1 (ポリエステル)	インナーフレーム×2 (グラスファイバー) (9節)	リッジフレーム×1 (グラスファイバー) (10節)コの字型
ペグ×13 (スチール)	ロープ 3M×4 (PP) ※装着済み	ハンマー×1 (スチール) ※サービス品	

**設営方法** ●設営は2人以上で行ってください。  
●風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

**1 インナーテントを広げて、インナーフレームをスリーブに押し込む**

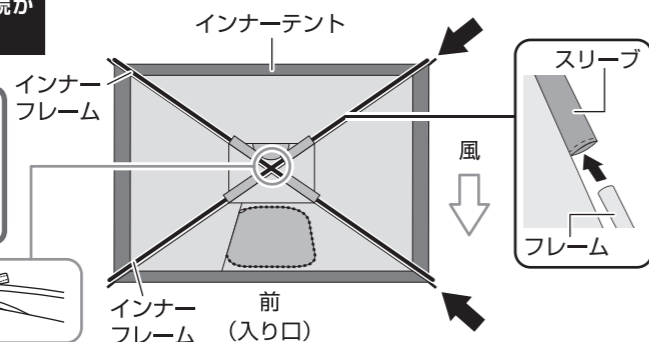
●すべてのフレームを連結して組み立てる。

スリーブに通す際、フレームは必ず押す。  
(フレームを引っ張ると連結部の接続が緩み、破損につながります)

**Point**

- 入り口が風下になるようにしてください。
- ヒモは、輪に少し余裕を持たせて結んでください。

ヒモで固定する  
(1か所)

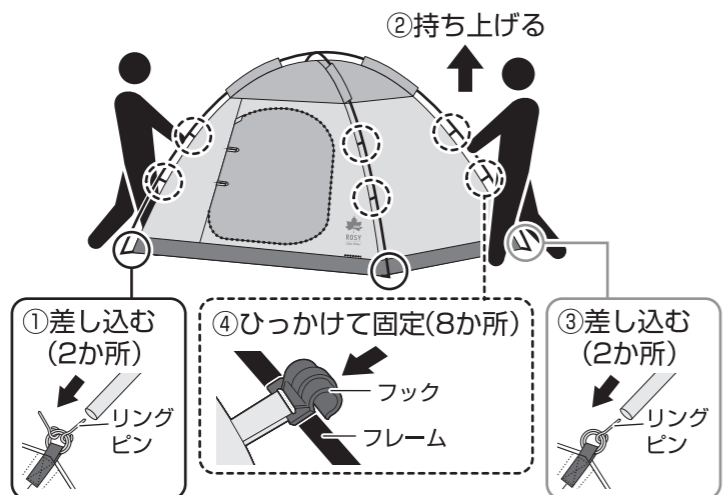


**2 インナーテントを持ち上げながら、フレーム先端にリングピンを差し込む**

必ず両側から2人以上で持ち上げる。  
(フレームに不必要な力がかかると折れることがあります)

**Point**

- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。



注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)



注意

- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

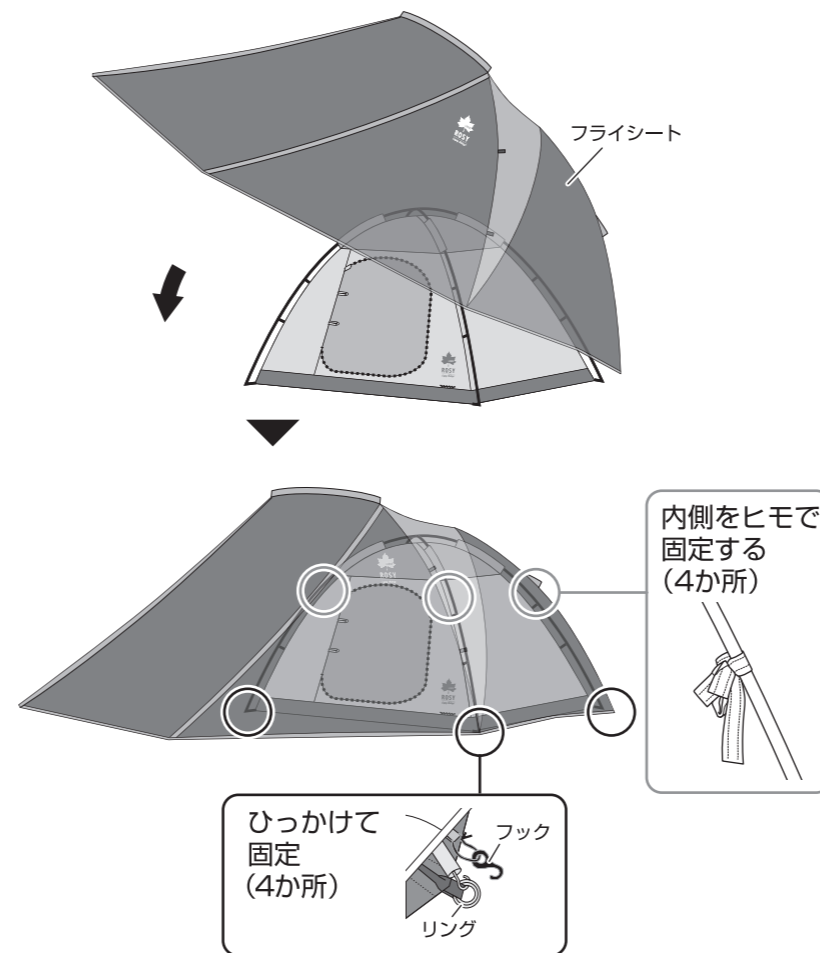
上手な  
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。

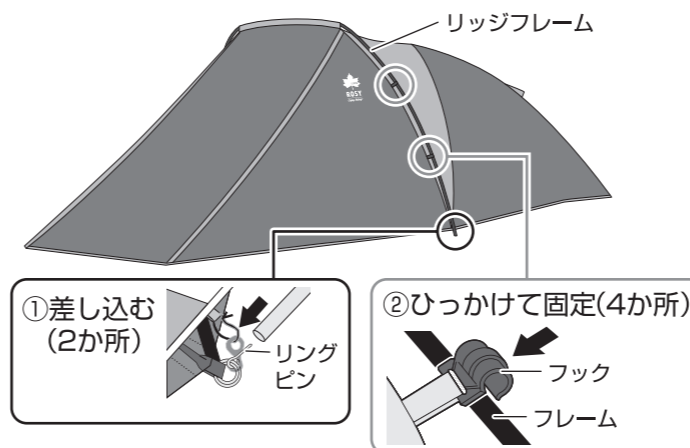
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

**3 フライシートをインナーテントにかぶせる**

●フックをリングにひっかけて固定する。



**4 リッジフレームをスリーブに押し込む**



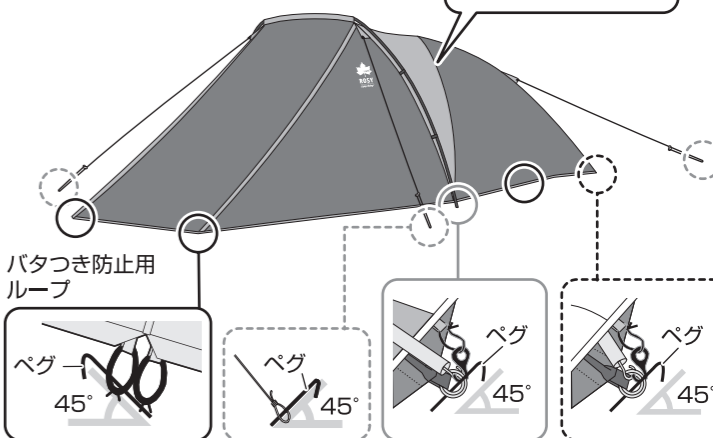
**5 ペグで地面に固定する**

- ペグは13か所打ち込む。
- 入り口の左右は、生地を張りながら最後に固定する。



注意

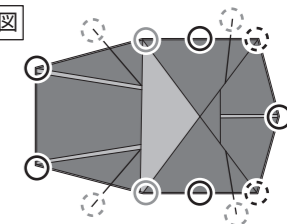
- たるみがないようにする。  
(テントが風で飛ばされ、けがのおそれ)



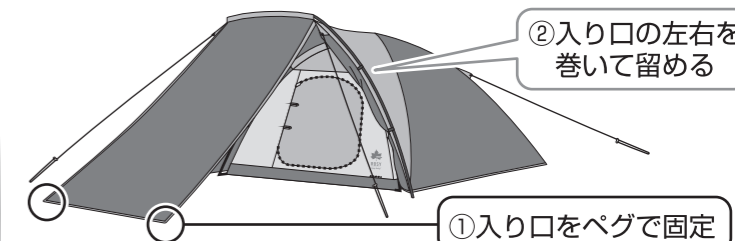
**Point**

- 次の場所にペグを打ちます。

上から見た図



**入り口の固定のしかた【よしずスタイル】**



- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

Designed by  
**LOGOS CORPORATION**

発売元  
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13  
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / [www.logos.ne.jp](http://www.logos.ne.jp)

■全国キャンプ場の空き情報 / [www.campjo.com](http://www.campjo.com)